

さみどり

藤枝市立瀬戸谷小学校
学校だより No. 6
令和5年 9月 1日

学校重点目標 : 自分から行動「わくわく」を共に創り出す

令和5年度 全国学力学習状況調査から見る本校の傾向について

4月18日に行われた小学校6年生対象の「全国学力・学習状況調査」について、全国や県の結果とともに本校の調査結果も届きましたので、本校の成果と課題を以下にまとめます。今後の指導の参考とし、授業や学校生活の中でより力を伸ばしていけるように努めて参ります。また、ご家庭でも、家庭学習等の取り組みにおける参考にしていただければと思います。

なお、この調査の目的や調査結果は学力の一部を計るものであり、学校教育の一つの側面ととらえております。ご理解の程お願いいたします。

【国語】（○成果 △課題）

○言葉の特徴や使い方：漢字を文の中で正しく使うことができる。

：文章の種類とその特徴について理解している。

○読むこと：目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。

：文章を読み理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

△書くこと：図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

△情報の扱い方：情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

△言葉の特徴や使い方：日常よく使われる敬語を理解すること。



言葉の使い方について、漢字を文の中で正しく使う力が付いています。これは、日々の積み重ねによるものだと思います。また、文章の特徴や中心を読み取る力も付いています。

一方、「書くこと」に関して課題が見られました。文章を書くときに、低学年では「内容や記述の具体性」、中学年では「書こうとしたことの明確さ」、高学年では「文章全体の構成や展開の明確さ」などが意識できるように、指導していきたいと思います。また、自分の体験や思いを書き表すことだけでなく、資料や図表などの情報と自分の考えを関係づけて書くということも丁寧に指導していきたいと思います。

【算数】（○成果 △課題）

○数と計算：一の位が0の二つの2桁のかけ算の計算をすることができる。

：(2桁) ÷ (1桁) の筆算について、図を基に商(答え)の数字の意味を考えることができる。

○変化と関係：伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。

○データの活用：表やグラフから、必要な情報を読み取ったり、そこから分かることを書いたりすることができる。

△図形：正三角形や台形の意味や性質について理解すること。

△変化と関係：百分率(%)で表された割合について理解すること。

基本的な計算をすることについて、力が定着しています。また、表やグラフを読み取る力も付いています。

課題として、「図形」の領域において、図形の特徴の理解や、性質を用いて説明することに課題が見られました。「公式を覚えた」「答えが出せた」「解けた」ではなく、その過程や、考えを数字や図、言葉で表現することを大切にして指導をしていきたいと思います。

[質問紙] (○肯定的な回答の割合が高かった項目)

- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 友達関係に満足している。
- 学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うことは勉強の役に立つと思う。
- 国語の勉強は大切だと思う。国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 算数の勉強は大切だと思う。算数の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役に立つと思う。
- 英語の勉強は大切だと思う。



規範意識に関する項目で肯定的な回答が多く、育まれていることが読み取れます。また、温かな人間関係の中で、協働・共生する良さも感じることができており、子どもたちの健やかな成長につながっていると思います。

一方で、自己有用感に関する項目（自分にはよいところがあると思う。将来の夢や目標を持っている。）や学習習慣に関する項目（家で自分で計画を立てて勉強をすること。家庭学習の時間。本や新聞を読むこと。）が、全国や県の状況と比較して課題が見られる傾向がありました。

また、学習に関することでは、国語において、書いた文章を互いに読み合ったり自分の文章のよいところを見付けたりすることや、英語における関心等に課題が見られました。

子どもたち一人一人のよさを伸ばし、将来に向けて生き生きと自分を表現する子を育てていけるよう、家庭と協力したり、授業の進め方を工夫したりしていきたいと思います。